

安全・安心ニュース No.48

大通コミュニティ協議会(総務)防犯 南区防犯協会大通支部

県内で還付金詐欺の被害増加

新潟県内では「医療費の還付がある」等と持ちかけ、お金をだまし取る「還付金詐欺」の被害が今年に入って増えている、警察は注意を呼びかけています。



「還付金詐欺」は、電話で役所の職員を名乗って「医療費の還付がある」「ATMで手続きが済む」等と言葉巧みに持ちかけ、お金を振り込ませるものです。

新潟県警によりますと、昨年一年間の還付金詐欺被害件数は11件、被害総額はおよそ850万円でしたが、今年は1月から3月までで被害件数が14件、被害総額もおよそ1250万円と、すでに前年を上回っています。

過去5年間を見ても、3か月間で最大の被害額となっています。被害に遭った14人のうち、13人が60代の女性ということです。

また、金融機関の窓口が閉まる午後3時から同5時までの間に、電話でATMの操作を促され、被害に遭う例も少なくないということです。

ATMを操作することで、お金が振り込まれることは絶対にありませんので、市(区)役所等を名乗る電話でお金のお話が出てATMを操作するとなったら間違いなく詐欺ですので、警察に相談するようにしてください。